

平成29年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	
						総事業費	総事業費						
						前回 ^{※4}	前回 ^{※4}						
						最終	最終						
道路事業	504	主要地方道伊勢松阪線	伊勢市	<p>【全体事業概要】 延長 L=1.1km 幅員 W=6.5(18.0)m</p> <p>主要構造物 近鉄アンダーボックス</p>	H9	H23	5,697	<p>■費用便益費 ・B/C=1.2</p> <p>■その他の効果 ・伊勢松阪線は国道23号と伊勢市役所を結ぶ路線として第2次緊急輸送道路に指定されています。鉄道との立体交差化により、旧道に比べ安全性・定時性が向上し、緊急輸送道路としての機能が強化されました。</p>	<p>人家が多く存在する旧道においては、交通量の減少や渋滞の緩和によりCO2排出量が削減されました。また、バイパスの農地部では光害対策の照明灯を設置することで、周辺環境へ配慮しています。</p>	<p>伊勢志摩地域は伊勢神宮や英虞湾などを有する国際観光都市です。当バイパスは伊勢市街において踏切を通らずに南北に連絡する唯一の幹線道路であり、当該道路の重要性に大きな変化はありません。また、平成28年には、志摩市で第42回先進国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開催され、伊勢市内に国際メディアセンターが設置されるとともに、各国首脳が伊勢神宮を参拝されるなど国際観光都市としての注目度は向上しています。当事業による市中心部へのアクセス機能向上は、観光都市としての魅力を向上させ、地域の活性化に寄与するものと期待されます。</p>	<p>伊勢松阪線沿線の御園町高向などの計8町の地域住民へアンケートを配布するとともに、道路利用者に対してWEBアンケートを実施しました。住民アンケートは2,219通を配布し、800通のご回答をいただきました。WEBアンケートにおいては、320名の方からご回答を得られました。地域住民の78%、道路利用者(三重県在住)の81%が満足と回答しています。また、渋滞対策・交通安全・救急活動等の視点から、関係機関へのヒアリングを実施したところ、踏切を通行しないうで工場へ行けるためメリットは大きい。通学路になっている旧道の交通量が減少し、危険性が減った。鉄道と立体交差しているためスムーズな通行が可能になり救急活動を行う際に効果を感じている。などの回答を得られました。</p>	<p>中島交差点と中島北交差点間の車両の滞留については、警察とも協議し、信号現示の改良を実施して頂き、効果の検証中です。国道23号への合流については、合流を分かりやすくするために、路面案内表示の追加を検討中です。スピードの規制と信号機の新設については警察から困難であるとの回答を頂いていますが、引き続き、現状を経過観察し、警察と協議していきたいと考えています。事業完成まで時間がかかり過ぎる点については、厳しい予算状況の中ではありますが、事業の選択と集中を行い、事業効果の早期発現に努めてまいります。</p>	
				H24		5,807	<p>・伊勢市では交通混雑期間において市内の交通混雑緩和のため、お伊勢参りされる方を対象に、パークアンドバスライドを実施しており、伊勢松阪線を利用しています。当該区間を通行することにより、混雑区間を回避できるため、定時性が確保され、伊勢神宮へのアクセス性が向上しました。伊勢神宮などの観光拠点へのアクセス機能の強化や市域内交通の円滑化による産業・観光の発展へ寄与します。</p>						

平成29年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						総事業費	総事業費					
						前回 ^{※4}	前回 ^{※4}					
街路事業	505	都市計画道秋葉山高向線	伊勢市	<p>【全体事業概要】 延長 L=0.8km 幅員 W=6.5(18.0)m</p> <p>主要構造物 JR高架橋</p>	H6	H22	4,255	<p>■費用便益費 ・B/C=1.2</p> <p>■その他の効果 ・伊勢松阪線は国道23号と伊勢市役所を結ぶ路線として第2次緊急輸送道路に指定されています。鉄道との立体交差化により、旧道に比べ安全性・定時性が向上し、緊急輸送道路としての機能が強化されました。</p>	<p>人家が多く存在する旧道においては、交通量の減少や渋滞の緩和によりCO2排出量が削減されました。また、バイパスの農地部では光害対策の照明灯を設置することで、周辺環境へ配慮しています。</p>	<p>伊勢志摩地域は伊勢神宮や英虞湾などを有する国際観光都市です。当バイパスは伊勢市街において踏切を通らずに南北に連絡する唯一の幹線道路であり、当該道路の重要性に大きな変化はありません。また、平成28年には、志摩市で第42回先進国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開催され、伊勢市内に国際メディアセンターが設置されるとともに、各国首脳が伊勢神宮を参拝されるなど国際観光都市としての注目度は向上しています。当事業による市中心部へのアクセス機能向上は、観光都市としての魅力を向上させ、地域の活性化に寄与するものと期待されます。</p>	<p>伊勢松阪線沿線の御園町高向などの計8町の地域住民へアンケートを配布するとともに、道路利用者に対してWEBアンケートを実施しました。住民アンケートは2,219通を配布し、800通のご回答をいただきました。WEBアンケートにおいては、320名の方からご回答を得られました。地域住民の78%、道路利用者(三重県在住)の81%が満足と回答しています。また、渋滞対策・交通安全・救急活動等の視点から、関係機関へのヒアリングを実施したところ、踏切を通行しないうで工場へ行けるためメリットは大きい。通学路になっている旧道の交通量が減少し、危険性が減った。鉄道と立体交差しているためスムーズな通行が可能になり救急活動を行う際に効果を感じている。などの回答を得られました。</p>	<p>中島交差点と中島北交差点間の車両の滞留については、警察とも協議し、信号現示の改良を実施して頂き、効果の検証中です。国道23号への合流については、合流を分かりやすくするために、路面案内表示の追加を検討中です。スピードの規制と信号機の新設については警察から困難であるとの回答を頂いていますが、引き続き、現状を経過観察し、警察と協議していきたいと考えています。事業完成まで時間がかかり過ぎる点については、厳しい予算状況の中ではありますが、事業の選択と集中を行い、事業効果の早期発現に努めてまいります。</p>
				H24		4,303	<p>・伊勢市では交通混雑期間において市内の交通混雑緩和のため、お伊勢参りされる方を対象に、パークアンドバスライドを実施しており、伊勢松阪線を利用しています。当該区間を通行することにより、混雑区間を回避できるため、定時性が確保され、伊勢神宮へのアクセス性が向上しました。伊勢神宮などの観光拠点へのアクセス機能の強化や市域内交通の円滑化による産業・観光の発展へ寄与します。</p>					